

被保護母子世帯の日々の生活に関するアンケート結果（概要）

本年6月に、全国の被保護母子世帯の世帯主に対し、母子加算復活前の平成21年6月頃と比較した生活意識の変化や母子加算の使途等につき、284世帯に対しアンケートを実施し、161世帯（回収率57%）より回答があった。

○日々の生活に対する意識

回答者の39%が「向上している」又は「やや向上している」と回答。

○母子加算の使途

母子加算の復活によって、昨年の同時期と比べ出費が増えた項目（複数回答）は、「子どもの衣服代（55%）」、「子どもの教育費（50%）」、「子どもの学校行事に関する費用（50%）」などが上位。

○母親の就労状況

回答者の21%が「新しく仕事に就いた」又は「仕事に行く日数等が増えた」と回答している一方、最も多く回答しているのが「去年の今頃と変わらない」で、回答者の61%を占めている。

○子どもの進学や学校行事の参加に対する意識

回答者の62%が「積極的に考えるようになった」又は「やや積極的に考えるようになった」と回答。

○将来の生活に対する悩みや不安

回答者の15%が「軽くなった」又は「やや軽くなった」と回答する一方、回答者の38%が「重くなった」又は「やや重くなった」と回答。